



いつでもどこでも、高品質な画像診断を。



新型コロナウイルス感染症の画像診断 における経時変化及び鑑別診断について

2020年3月4日

株式会社ドクターネット／株式会社Infervision.Japan

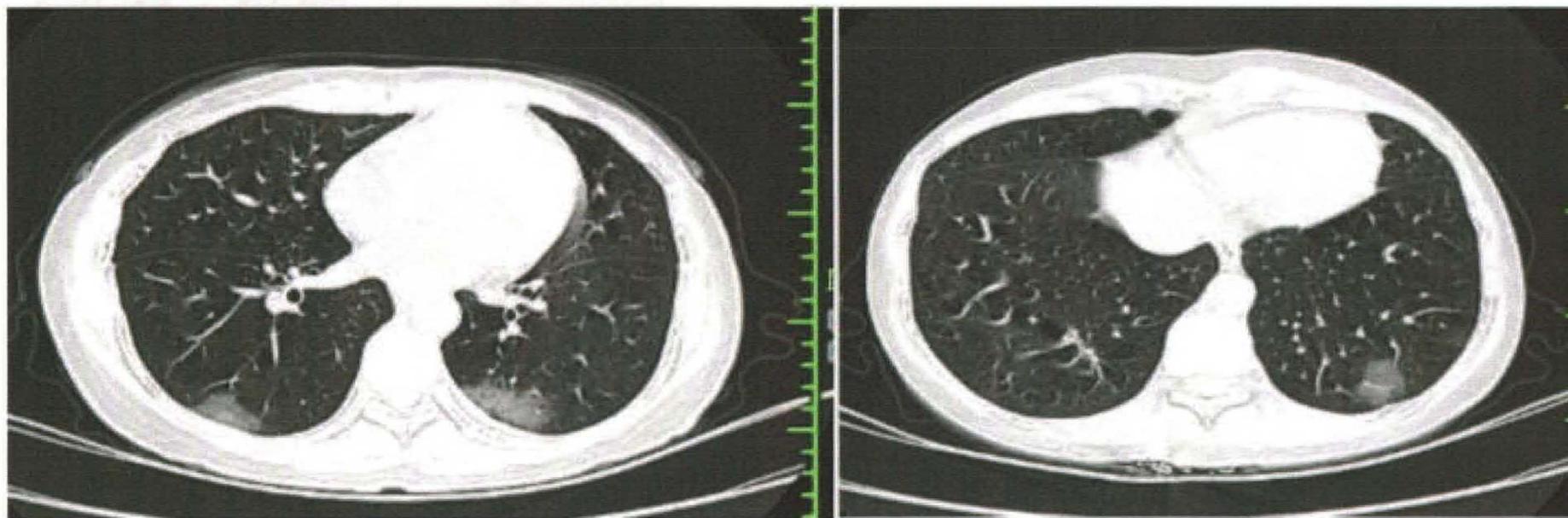
本資料はInfervision (Beijing) Co., Ltd. (北京推想科技有限公司)及び同社アジア太平洋支社である株式会社Infervision.Japanから、株式会社ドクターネットの契約読影医師向けに、特別に公開許可を得た資料です。株式会社ドクターネット品質保証室監修のもと日本向けに翻訳しております。

(無断転載・無断使用禁止)



画像所見

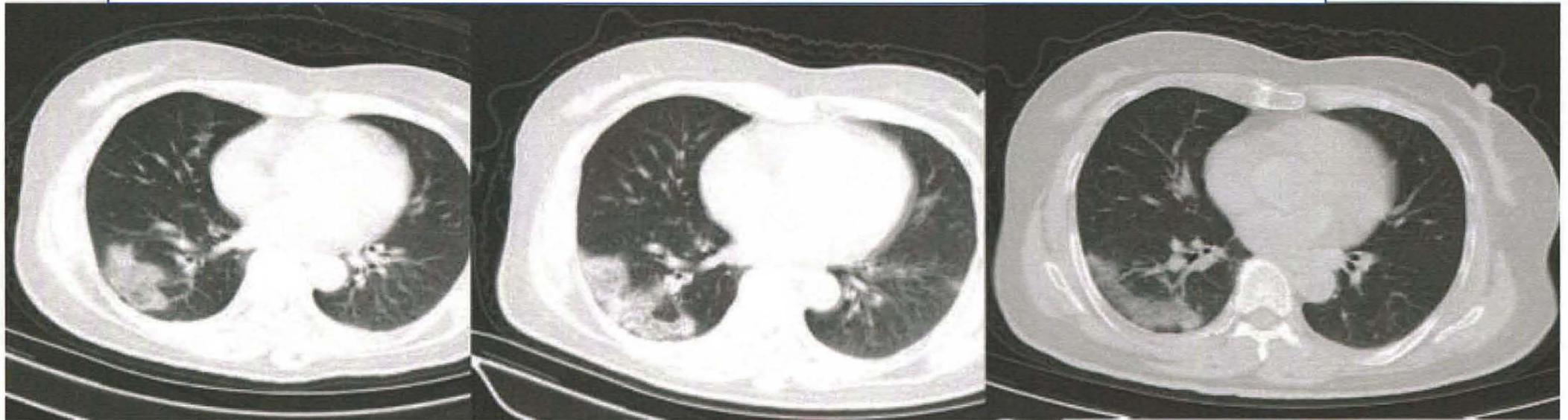
1.26 PCR検査: (+) ;1.26CT





経時変化/結果

女性、60歳、発熱5日間、体温37.5度、PCR検査陽性



1月30日

2月4日

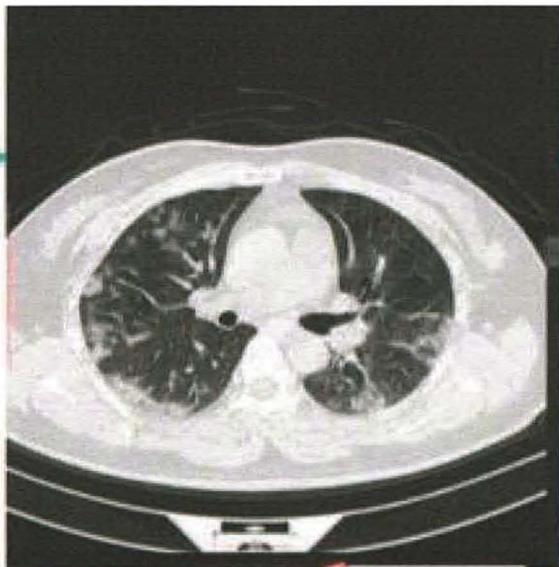
2月8日

右上葉及び両下葉に多発浸潤影あり、境界不明瞭、小葉間隔壁肥厚、特に右下葉胸膜下が顕著。経過観察にて濃度は低下、サイズは縮小傾向。

瑞安市人民病院高源統主任より提供

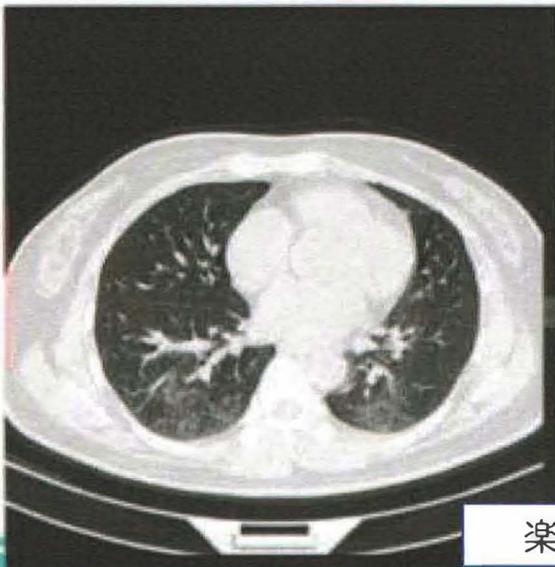
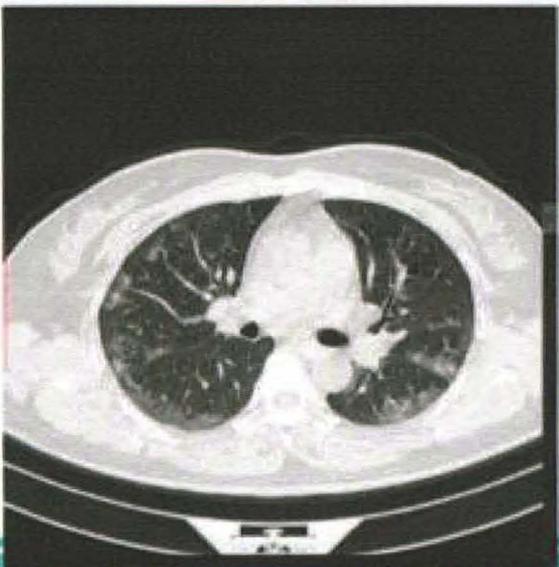


2020.02.03



浸潤影+GGO

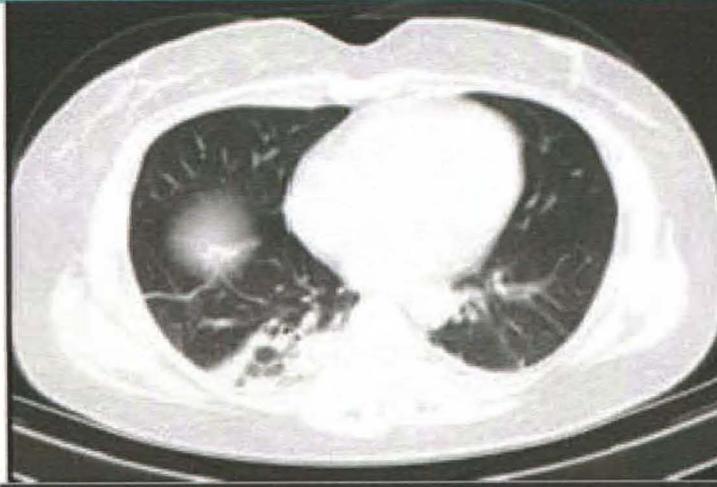
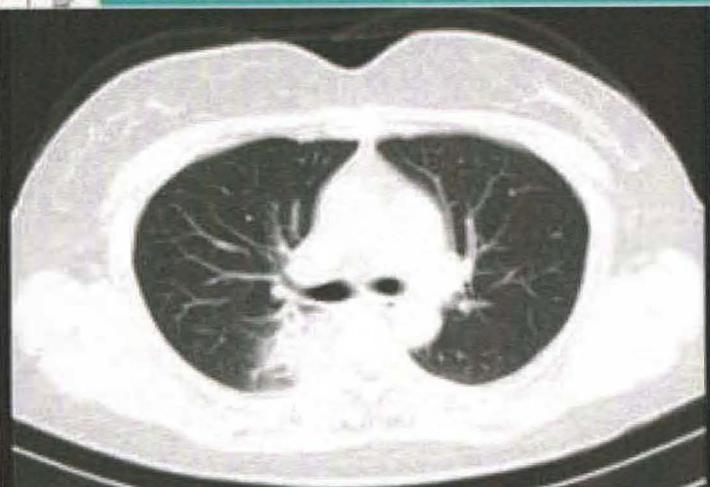
2020.02.09



GGOがメイン

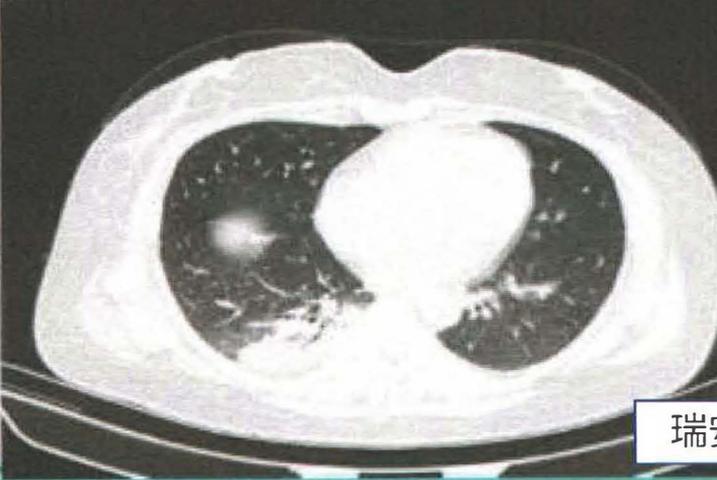
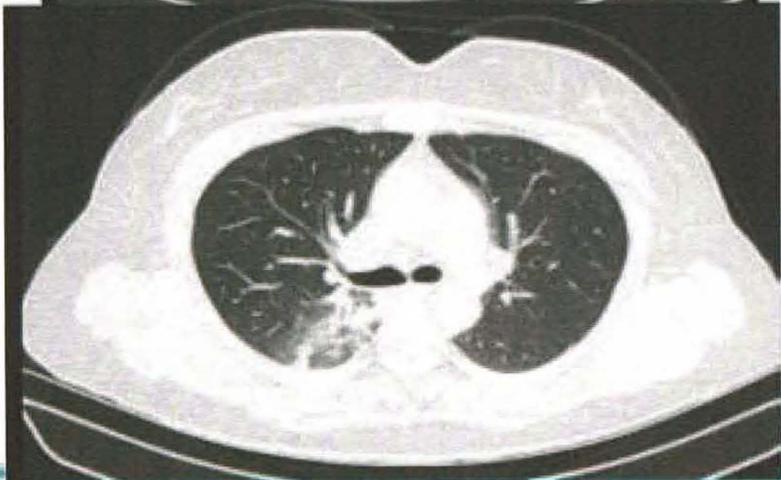
岩塚璃乃主

乐清人民医院鄭漢明主任より提供



両肺に限局性高濃度浸潤影が認められ、前回検査に比べ悪化。右下葉に新たな病変が認められる

2月4日



右S6病変は軽度増大し索状影出現。下葉病変は浸潤影と気管支透亮像。

2月6日

瑞安市人民病院高源統主任より提供